カンボジア旅行について 7

高橋　亮

皆様こんにちは。今回も宜しくお願いします。

前回の話の続きですが、萩森先生の知り合いの女性が暮らしているお店ですが、そこは二階建ての建物で、一階は織物を織る作業場で、二階がお店という造りでした。一階の作業場では親子で仕事をしておられた方も見えたのですが、その子供は勉強を楽しそうにやっていた姿が、とても印象的でした。というのも、私が子供だった時分には、勉強に自発的に取り組む同級生の記憶があまりなく、テレビゲームの合間に嫌々勉強していたように思うからです。勉強とは、本来楽しいものと思ったのは、大人になってからだったと思います。

さて、その店の女性とは、色々な話を先生がしておられたのですが、あまり内容は覚えていません。唯、カンボジアの人々の生命力の強さや、今度来るときは、もっと安価な方法があるとか、次はどこへ行こうか、という話だったように記憶しています。

店を後にした私たちは、確か日本人の女性が経営する居酒屋「芭蕉」にもう一度訪れたと思います。先生は私に気を遣ってくれて、色々な食べ物をおごってくれたのですが、私自身が食べられないものが多く、申し訳なかったと思っています。また、旅行中にホテルなどで色々な書物を読書できたことも、良い勉強になりました。この場を借りて深謝いたします。

帰りの飛行機は、あまり眠れなかったのですが、良い人生初の海外旅行になりました。皆さま、今まで私の拙文にお付き合いくださいまして、有難うございました。また、どこかでお会いしましょう。